

## 【新年のごあいさつ】

あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝で新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

市長に就任して2年、任期の折り返し点を過ぎ、決意も新たに、本年も元気な大阪をめざして積極的に市政を推進してまいります。

中央集権から地域主権への流れが一気に進むことが期待されている今、地方行政に携わる私たちも、地域のことは地域で決め、責任を負う気概が求められており、人々が住み暮らすまちが活力を持ち、その元気の輪を大きく広げていけるような仕組みづくりが重要になっています。

大阪には、先人たちが作り上げてきた都市基盤や、豊かな歴史と文化、大阪都市圏を支える産業・経済の集積など様々な資源があり、まちの活力を生み出す源泉となってきました。

また、そこに暮らす人々の「自分たちの手でまちをつくっていこう」という思いは、今も脈々と受け継がれており、その心意気と誇りは日本中のどの都市にも負けないと確信しています。この心意気を、行政がどう後押ししていくのか、市民と行政の心理的な、あるいは人間同士の距離感、仕組み上の距離感をどう縮めていくのか、ということが、これからのまちづくりにおける重要な課題だと考えています。

大阪市では、昨年3月に策定した『『元気な大阪』をめざす政策推進ビジョン』に基づき、大阪のまちが持つこうした潜在力や多様性を活かして、誰もが「いちばん住みたい」と思えるまちをめざして様々な施策を進めています。

とりわけ、市民との協働を市政運営の大きな柱として、「いっしょにやりまひょ！」を合言葉に、生活に密着した地域防犯、放置自転車対策、ごみ減量の3つに重点的に取り組んでおり、皆様方のご尽力、ご協力のお陰をもって、目に見える効果も現れてきています。

街頭犯罪が減り、公園や街角が美しくなって、大阪は少しずつ元気になってきました。ゆっくりと、でも、見違えるように変わりつつあるまちのたたずまい、おいしい食べ物、ホスピタリティあふれる大阪人…。「大阪に行ったら元気になれる」と言ってもらえるような、そして、「地域主権のモデル都市」と呼ばれる大阪にしたいと思っています。

さらに、真の地域主権を実現し、大阪市とその都市圏にとどまらず、関西全体を活性化していくためには、大阪府との連携を一層強力に推進していくことはもちろん、基礎自治体が互いに補完しあう水平連携を進めていく必要があります。まずは、京都、神戸、堺と大阪の4市で交わした「包括連携に関する協定書」に基づき、それぞれの都市の特性を活かしながら、共通する様々な課題に取り組んでまいります。

また、本年は、産業経済の分野においても、新たな動きを起こしていく大切な年

であり、WTCを中心とする咲洲、夢洲の臨海部、梅田北ヤードについては、関西再生・活性化のための戦略エリアとしてどのように活用し、経済活性化に結びつけていくのか、大阪府や経済界と一緒にになって取り組んでまいります。

厳しい経済情勢が続いていますが、大阪の経済を支える中小企業の競争力の強化や、起業、事業拡大の支援にも力を注いでまいります。特に、昨年9月に設置した「売りづくりセンター」を拠点として企業の海外展開を支援するなど、成長が期待されるアジア市場や環境・エネルギー分野のニーズを的確に捉えたものづくりを行う「売りづくり」の取り組みを推進します。また、技術開発から製品化、販路開拓に至るまで総合的なものづくり支援機能の構築をめざして、工業研究所や産業創造館、大学との産学官連携を進めるなど、ものづくり企業の成長を応援し、大阪・関西の経済の活性化に努めます。

一方、大阪が魅力ある都市として発展を続けていくためにも、次代を担う子どもたちが確かな学力と「生きる力」を身につけていけるよう、習熟度別少人数授業の拡充など、「できる喜び」・「わかる喜び」を実感できる教育に取り組んでまいります。また、中学校給食の実現に向けた昼食弁当の利用促進や、保育所待機児童の解消をはじめとする子育て支援策を推進し、家庭と地域、学校の連携により、社会全体で子どもたちを健やかに育てていく環境づくりに力を注いでまいります。

昨年開催した「水都大阪2009」では、大阪の水辺の魅力はもちろん、イベントを支えてくださった市民の皆さんのパワーを、多くの人たちに知っていただくことができました。こうした大阪の素晴らしい財産を活かし、これからも多くの人が集い、賑わう新しい水辺のまちづくりに取り組み、海外にもしっかりとアピールしてまいります。

本年5月から開催される「上海万博」には、大阪府と共同で「環境先進都市・水都大阪の挑戦」をテーマとして出展し、かつて公害に苦しみ、その克服に向き合ってきた歴史を持つまちとして、大阪の環境共生のまちづくりの取り組みや技術力を世界に向けてアピールし、世界の都市の環境改善に寄与してまいります。

厳しい財政状況をはじめ、大阪市には様々な課題が山積しておりますが、こういう時こそ前を向いて、皆様と力を合わせて大阪から関西を、日本を元気にしてまいりますと考えています。

だれもが「いちばん住みたい」と思えるまちの実現に、本年もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

大阪市長 平松 邦夫